



佐工だより

佐賀県立佐賀工業高等学校 総務部発行 第332号 (2020年4月)



花々が咲き、草も美しく萌える春。この冬は雪が積もることなく過ぎてゆきました。皆さんのこの1年はいかがでしたか？毎日の学校生活を振り返り、自分なりに満足のいく1年だったと思えるならば幸いです。

新型コロナウイルスの流行により、卒業式後は自宅学習となりました。今後もどのように推移していくのかわからない状況です。時間は何かしても、しなくても過ぎていきます。体に気をつけ、怠ることなく、今できることに努力しましょう。

卒業式

3月1日(日)は全日制課程第72回卒業証書授与式が挙行されました。全国各地で新型コロナウイルスの感染が確認され、近県でも感染者が相次ぐため、予防措置として式を簡素化し、全員がマスクを着用しての挙行となりました。

全員の呼名の後、卒業生を代表して機械科1組の荒木敬志君に証書が授与されました。式辞の中で、副島政史校長先生は卒業証書の二つの日付を取り上げられました。一つは誕生日です。「病気のとき心配して看病してくれたのは誰ですか。毎日、弁当を作ってくれたのは、部活動の応援をしてくれたのは、進路で悩んでいるときに励まし、元気をくれたのは誰ですか。生まれてから今まで多くの人にたくさんのことをしてもらったはずですが。これからは君たちが周りの人を照らし、温かさを伝える人間に成長してください。」そして、もう一つは卒業する日です。「近頃亡くなったプロ野球の野村監督は『失敗と書いて成長と読む』という言葉を残しました。3月1日を機に人間力を高め、大きく成長することを願います。」このように、卒業していく3年生を激励されました。

続いて全在校生を代表して、ただ一人式に参列した生徒会副会長 古賀百華さん(建築科2年)が送辞を述べました。「この二年間、本当にいろいろなことを教えていただきました。建築デザイン部では、道具の使い方も教えてい

いただきました。鉋が上手く使えず、木の上を滑らせたいのに引っかけてばかり。そんな私に、先輩は刃の出し方にコツがあるとアドバイスしてくださいました。気持ちよく削れるようになったのは先輩のおかげです。」このように先輩と過ごした日々を振り返りました。送辞に代えて、生徒会長の江口真治君(電気科3-1)が答辞を述べました。「佐賀工業での日々を通して、『至誠剛健』の校訓の下、私たちは仲間との絆、積極性、誰かのために優れたものを作る姿勢や、技術を身につけることができました。私たちがこうして成長できたのは、今日まで指導して下さった先生方のおかげです。」後輩の皆さんへは、「高校生



卒業証書授与



答辞



送辞

活は思っているよりも早く過ぎ去っていきます。一日一日を無駄にせず、自分の夢を実現させてください。そのためには早くから計画し、積極的に行動していくことが大切です。後輩の皆さんの学校生活が有意義なものになるよう祈っています。」との言葉を残してくれました。

式には参列できなかった皆さんも、部活動の集まりで別れの言葉を聞き、頼れる先輩がいなくなる寂しさと、次は自分たちが頑張らねばという気持ちを感じたのではないのでしょうか。

ご退職なされる先生方

この3月で定年退職なされるのは、主幹教諭の平川秀樹先生と電気科の水町大介先生のお二人です。先生方、長い間大変お疲れ様でした。そしてお世話になりました。

平川秀樹先生



水町大介先生（電気科）



私は、在学時3年間（電子科卒業）、その後全定合わせて16年間、そしてまた5年間、合計24年間佐賀工業にお世話になりました。教職につき、ものづくりの楽しさを教えるべく、資格試験取得やマイコンカー製作など生徒と一緒に夢中で取り組みました。部活動では、サッカー部、バドミントン部、ラグビー部に携わり、九州大会や全国大会に行くなど、良い経験をさせていただきました。

還暦は赤ちゃんに戻るといわれます。最初は佐賀工業、最後の年も佐賀工業高校で定年を迎えられ、とても感謝しています。来年度から新しい佐賀工業高校がスタートします。120年有余の歴史と伝統のある佐賀工業高校の更なる発展を祈念いたします。

卒業生と語る会（建築科1, 2年）

2月21日（金）、建築科で毎年行われている「卒業生と語る会」が催され、2年前に卒業した22名の先輩が、県内だけでなく、遠くは東京からこの会に駆けつけてくださいました。「通勤する格好で来てください」という依頼に添って、スーツ姿あり、作業着あり、OLらしい姿あり。そんな先輩方に、来校前の思い、仕事でたいへんなこと、2年前を振り返ってなどの思いを伺いました。

「楽しみでした。後輩のためになればと思って。東京は人が多いです。佐賀とは比べものになりません。電車も多くて、交通の便がいいです。意外と公務員志望が多いのだな、と思いました。」（東京・古賀翔太さん）

「今日、来るのを楽しみにしていました。女の子で、入社したい人がいたら、とも思っていました。現場監督をしています。建築は土木と違って扱う業者数が多く、覚えなくてはならないことが本当に多いです。1人前まであと3年ばかり

そうです。勉強は高校のときよりずっと大変。でも、毎日『今日も楽しかった』で終わります。」（県内・口石幸奈さん）「まだ人に言えるほどの仕事をしていないので、どうかなと思って来ました。職場は人間関係がよくて恵まれています。福岡で1人暮らしをしています。朝の弁当作りが辛いです。人が多いのでいろんな人に会えて、いろいろな考えに接します。価値観が磨かれ、いい勉強になります。」（福岡・齋藤英寿さん）



「自分たちも2年前に受けた会なので、ああ、もうそんな時期なのか、と思いました。2年はあっという間でした。社会人になって、今だからわかることがあるので、後輩の役に立てばと思って来ました。仕事は専門的で、覚えることばかりです。知らないことを調べながら、教わりながらやっています。まだまだ1人前ではありません。1人前になったら、自分は仕事をしていると思えると思います。周りの先輩がときどき食事に連れて行ってくれたりします。声をかけてくれたり、いろいろ気がけてもらっています。」(県内・中尾梨花さん)



先輩方と話をした1、2年生諸君の感想です。

「2年であんなになれるなんて、すごいなあと思いました。」「仕事のイメージがはっきりしました。きついけれど達成感があるとかわかって為になりました。」「職場の本当の雰囲気などがわかりました。私も2年後は先輩みたいになりたいです。」「実際の現場のきつさがわかった。高校でこれだけはしておけ、ということも教えてもらった。」「これまで求人票を参考にしていましたが、先輩はリアルなことを教えてくれて、役に立ちました。」(以上2年生)

「めっちゃ勉強になりました。給料が20万もらっていると聞いて多いなあと思いました。」「寮費が月5千円で、東京で5千円なんて安いから、東京で働くのもいいなあと思いました。」「大工に興味があるのですが、大工の仕事がよくわかりました。」「いい話を聞きました。高校では勉強も大事だけれど、人と関わることが大切だと言っておられました。」「個人で話を聞く形だったので、いろいろ聞きたいことが聞けてよかったです。4年後、私もこんなふうになってるのかなあ。」「測量士補とか名前は知っていたけれど、先輩の話聞いて具体的にわかりました。学校では先生が自分たちに合わせてくれるけれど、仕事では自分が幅広い年齢層の相手に合わせなくてはいけないと言っておられました。」(以上1年生)



表彰

キ：機械科、テ：電気科、シ：電子情報科、ケ：建築科

◆令和元年度佐賀県高等学校新人体育大会
バレーボール競技 第3位

◆令和元年度佐賀県高等学校新人ラグビーフットボール大会
男子団体 優勝

◆第42回佐賀県高等学校選手権柔道大会

女子個人			
48kg級	第1位	吉本 萌乃	(ケ2・基山中)
52kg級	第1位	大石 凜	(ケ2・大和中)
57kg級	第1位	庄野 文香	(シ2-2・昭栄中)
63kg級	第2位	牧山 雅	(シ2-2・有田中)
女子団体	第2位		
男子個人			
66kg級	第1位	辻 勇貴	(キ2-1・芦刈中)
73kg級	第2位	中村 絢	(キ2-1・三日月中)
60kg級	第3位	山口 啓志	(テ1-2・大和中)
73kg級	第3位	藤田 健斗	(キ1-2・三日月中)
無差別級	第3位	陣内 星河	(キ2-1・東原庵舎西浜校)
男子団体	第2位		

◆令和元年度第12回九州地区高校生溶接技術協議会
個人の部 優秀賞 藤川 拓也 (キ2-2・東原庵舎西浜校)

◆3R推進貢献 生徒会

◆教育長表彰 中村 絢 (キ2-1・三日月中)

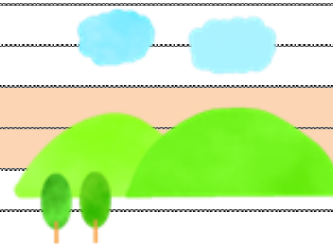
◆佐賀県スポーツ賞
令和元年度 全国高等学校体育大会 48kg級 第3位
柔道競技 優秀賞 吉本 萌乃 (ケ2・基山中)

◆令和元年度九州ラグビーフットボール大会
男子団体 第2位

◆令和元年度 第55回新春読書感想文コンクール
県審査 高校生の部
佳作 田町 太暉 (テ2-2・城北中)

4 月 行 事 予 定

日	曜	行事予定
1	水	
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	始業式 新任式
7	火	課題テスト（専門教科） 服装頭髪検査 自転車点検 大掃除
8	水	入学式（2、3年生 自宅学習）
9	木	対面式 表彰伝達 課題テスト（全学年）
10	金	新入生オリエンテーション 部活動紹介 クラス役員任命式
11	土	
12	日	
13	月	教育相談週間 身体測定 眼科検診 図書館オリエンテーション
14	火	
15	水	心臓検診（1年）
16	木	
17	金	1年生宿泊研修（北山少年自然の家）
18	土	
19	日	
20	月	学びの基礎学力講座開始 1年生振替休日
21	火	
22	水	
23	木	内科検診
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	昭和の日
30	木	



お知らせ ◆5月17日（日） 教育後援会総会が開催されます。ご予約ください。

佐賀県立佐賀工業高等学校

所在地 〒840-0841 佐賀市緑小路1-1

TEL 0952-24-4356

FAX 0952-25-7043

（ホームページ）

<http://www.education.saga.jp/hp/sagakougyoukoukou/>

編集後記 私は、竜巻やヘリコプター落下やトンネル崩落…いろいろな災難が自分の身に起きるような気がするタチです。コロナウィルス、きっと罹ると思っています。だから、何事も最後という覚悟で悔いのないように取り組もう。一方で、悔いがあるがなかろうが、構わないという思いもあります。あれこれ考えても仕方がない。誰かが言っていました。「私たちのしていることは几帳面な当てずっぽう」って。 K